

メディアで地域再発掘プロジェクト

実施団体: **クリエイト** (青森県青森市)

代表: 久保田 圭祐

これがメディアで地域再発掘プロジェクトだ!!

はじめまして。クリエイトと申します。

僕たちは、会員10名(4.1現在)で活動しているサークル団体です。今年の3月31日までは、「NorthFM」という名前で活動していました。

主な活動は、ミニFMという形態のラジオ局運営とインターネットを使った情報配信です。この2つを利用して、「地元への情報提供」、「観光客への情報提供」を同時に行っていきます。

地元を重要視するというのはこのような団体ではあればいいところでもやっています。

なぜ観光に力を入れるのでしょうか。

青森市といえば、世界の火祭り「青森ねぶた」を思い浮かべるでしょう。ねぶたは毎年8月初旬、青森市に来る観光客は8月に集中していてその他の時期はあまり観光客がいらっしゃいません。これでは、御土産屋さんもあがったりです。更には2010年12月には東北新幹線が青森まで延伸されます。クリエイトでは、新幹線青森延伸を友好に活用しなければ青森は死んでしまうと考え、観光にも力を入れて活動していくこととしました。

クリエイトでは「活動している」のではなく「活動させていた

だしている」という認識の下、サークル団体にもCSR(企業の社会的責任)があると考え文化活動などをはじめとして地域貢献活動を展開しています。クリエイトの活動場所として一般の方から提供していただいている事務局舎の周辺でゴミ拾いなどを毎週実施しております。

クリエイトの最終目標は「みんなで幸せになる」です。「みんな」というのはクリエイト会員ではなく、多数派の人々でもありません。地域の皆様全員という意味です。この最終目標を達成する為、会員一同がんばっています。

クリエイトでは、「青森だからできること、青森じゃないと出来ないこと」とモットーに青森ならではの活動を展開してまいります。

先日、産経新聞に掲載されたのを皮切りに全国紙・地方紙から取材依頼が来ているほか、テレビ番組制作会社からも取材依頼が来ております。これからも飛躍し続けていく所存ですので今後とも宜しくお願い致します。

●主な活動内容

★あおもりアートエフエム

ミニFMの運営。地元住民へ向けた番組の放送と、観光客へ向けた番組の放送を実施する。観光客への放送局の周知手段としては観光案内所・ホテルなどへビラを置いていただく。

ミニFMって何!?

名前のとおり、小さなFMラジオ局です。

法的に個人利用が認められている微弱電波を利用し放送するものです。過去にフームになり、ミニFMを題材にした中山美穂さん・織田裕二さん主演の映画「波の数だけ抱きしめて」が公開されました。

ただ微弱電波という名のとおり、放送できる範囲が少ないのが難点です。このことからあおもりアートエフエムでは、中継局を設置し多くの方から聞いていただけるようにします。

★あおもり話題チャンネル

ネット向けの新聞の発行・運営。内容は、青森に来た観光客向けの情報とするが、地域住民にも十分有益な内容とする。可能であれば印刷し観光案内所にも置く。

★大手メディア・行政機関の見学

地元のテレビ・ラジオ局や新聞社の見学をし、メディアのあり方を考える。県庁などの行政も見学し、メディアと行政の関係や観光への取り組みを聞き活動に役立てる。

●クリエイトスローガン

青森だからできること。

青森じゃないとできないこと。

【産経新聞 東北版】発売区域 東北全県 発売日 平成20年11月5日
特報 追う「奮闘!高校生ミニFM局/広がる夢『愛される番組作りたい』」

[リード文]

電波を通して青森の発展に貢献したい。青森市内の高校に通う生徒がミニFMを立ち上げた。「地元密着」をコンセプトにニュース、観光、話題、音楽などバラエティーに富んだ情報を発信、コミュニティーづくりに一役買っている。「地域に根差した番組で少しでも地元の役に立ちたい」と夢は膨らむ。(福田德行)